

部課名		選挙管理委員会事務局											
課の使命		○有権者のみならず、関係する人すべてに対する公平・公正な選挙の管理執行及び投票しやすい環境整備を行います。 ○投票意識の高揚をはかるため、明るい選挙推進委員等と連携し、効果的な啓発を実施します。											
実行計画(年度目標)													
順位	計画類型	取組項目	年度目標設定				中間確認		年度未確認				
			具体的な活動内容	指標	目標値	進捗状況	上半期の状況や評価	下半期の予定	1年間の総括	目標値に対する実績値	評価	評価の視点	課題と対応
1	人材育成	「改革・改善志向」	①投票事務従事者の意識・知識向上に向けた研修を実施します。 ②近隣市との選挙事務の包括連携協定等に基づき期日前投票の実地研修を実施します。 ③選挙管理委員会事務局職員の能力を向上させるため、局内研修の実施、外部研修へ参加します。	①庁内研修実施回数 ②他市選管との研修実施回数と参加延べ人数 ③研修への実施・参加回数	①1回 ②1回 延べ20名 ③5回	○	①Formsを用いた選挙に関する理解度を測るアンケートの実施を検討しました。庁内研修は下半期に実施します。 ②近隣自治体と調整し、研修参加の承諾を得ました。実地研修は、下半期に実施します。 ③4月に立候補説明会に関する勉強会、5月に事前審査に関する勉強会の計2回の局内研修を実施しました。外部研修の参加も含め、下半期も実施します。	①市議・市長選挙に向けて研修内容を検証します。 ②事務局職員の能力を向上させるため、局内において研修会を実施します。	①Formsを用いて全職員を対象に、選挙に関する理解度の復習を測るアンケートを実施しました。 ②衆院選の影響で、近隣自治体との期日前投票の実地研修は中止となりました。市議・市長選後の収支報告書、公費負担の受付業務については、近隣自治体との実地研修を行いました。 ③年間を通じて、立候補説明会・事前審査・立候補届出・公費負担・収支報告に関する勉強会を計5回実施しました。また、東京都主催の外部研修にも3回参加しました。	①1回 ②1回 延べ5名 ③8回	C	C:目標水準を達成したためです。	庁内研修、実地研修及び局内研修について、継続的に実施していける体制を整えます。
2	個別計画	円滑な選挙の実行/「目的志向」	①投票機会の確保及び利便性の向上のため、選挙に関する情報を広く発信し、投票率の向上を目指します。 ②東京都議会議員、参議院議員選挙、町田市議会議員選挙及び町田市長選挙において、有権者に対して開票結果を迅速に公表します。	①同一の前回選挙の投票率(2021、2022年度執行) ②開票に要する時間同一の前回選挙の開票時間(2021、2022年度執行) ※指標、目標値に誤りがあったため、修正しました。	①都議 44.63% 参院 54.86% 市議 42.52% 市長 42.51% ②1時間20分(2021年度比5%減) 都議 2時間5分 参院 6時間30分 市議 4時間30分 市長 3時間25分	○	①東京都議会議員選挙の投票率は48.20%(2021年度比3.57ポイント増)、参議院議員選挙の投票率は60.77%(2022年度比6.885.91ポイント増)と、共に向上しました。 ②東京都議会議員選挙は2時間10分参議院議員選挙は6時間10分でした。 ※数値に誤りがあったため、修正しました。	①市議・市長選挙に向けて、引き続き情報を広く発信すると共に、投票率の向上を目指します。 ②市議・市長選挙に向けて、開票時間を短縮できるような課題を整理します。	①都議選の投票率は48.20%(2021年度比3.57ポイント増)、参院選の投票率は60.77%(2022年度比5.91ポイント増)、衆院選の投票率は57.82%(2024年度比2.11ポイント増)、市議選の投票率は47.26%(2022年度比4.74ポイント増)、市長選の投票率は47.26%(2022年度比4.75ポイント増)、と5つの選挙で大幅に向上しました。 ②都議選は2時間10分、参院選は6時間10分、衆院選は3時間53分、市議選は3時間20分、市長選は2時間30分でした。5つの選挙を合計すると、大幅に開票時間を短縮できました。	①都議 48.20% 参院 60.77% 衆院 57.82% 市議 47.26% 市長 47.26% ②都議 2時間10分 参院 6時間10分 衆院 3時間53分 市議 3時間20分 市長 2時間30分	B	B:当初の目標を上回る成果が上がったためです。	引き続き投票率の向上や開票時間の短縮に向けて、人員配置や作業内容を見直していきます。
3	個別計画	投票環境の充実に向けた取り組み/「目的志向」	①若年層等と連携し、SNS、ホームページ及びその他広報媒体を活用した啓発を実施します。 ②若年層及び障がい者含む学校・施設へ選挙出前講座を行い啓発を実施します。	①若年層と行う啓発の実施回数 ②若年層及び障がい者へ行う講座の実施回数	①2回 ②60回	○	①大学生がデザインしたイラストを使用したルーズリーフを高校生に配布するとともに、SNSで利用できるスタンプデザインの作成を行いました。また、参議院議員選挙においては、ホームページのブランディングエリアパナーを使った投票日の周知や街頭啓発を実施し、その様子をSNSにアップしました。 ②市内の小・中・高等学校に対して出前講座の案内を送付し、選挙の講義や模擬投票を5回、庁舎見学での模擬投票を8回、選挙器材の貸出等を7回の計20回実施しました。	①引き続き、若年層と連携した啓発活動に取り組みます。 ②引き続き、出前講座や庁舎見学時の模擬投票等を実施します。	①上半期には、大学生がデザインしたイラストを使用したルーズリーフを高校生に配布、SNSで利用できるスタンプデザインの作成の計2回を行いました。下半期には、18歳から20代の参加メンバーがデザインした市議・市長選挙のポスターを、庁内及び各センター、町田駅周辺等に掲示しました。また、市議・市長選挙では、初めての取り組みであるオリジナル「投票済証」を作成し、多くの選挙人の方から好評を得ることができました。 ②今年度は、突発の衆院選を含め5つの選挙を執行したにもかかわらず、選挙の講義や模擬投票を9回、庁舎見学での模擬投票を36回、選挙器材の貸出等を10回の計55回実施することができました。	①4回 ②55回	C	C:目標水準を達成したためです。	引き続き啓発活動を実施していきます。
4	事務事業見直し	職員負担軽減に向けた取り組み/「改革・改善志向」	各部に所属する会計年度任用職員(業務)が選挙事務に従事できるよう検討します。	①調査 実施回数 ②検討会 実施回数	①1回 ②2回	○	次年度以降の実施に向けて庁内調整及び局内検討会を実施しました。	先行自治体への調査を行い、導入に向けた検討を行っています。	次年度以降の実施に向けて庁内調整及び局内検討会を実施するとともに、先行自治体への調査を行い、導入に向けた検討を行いました。	①1回 ②2回	C	C:目標水準を達成したためです。	実施に向けて、引き続き検討をしていきます。